第二回定例会内容まとめ

令和２年９月８日

この度は皆様お忙しい中アンケート形式の定例会議にご協力いただきありがとうございました。所属大学の 2/3 以上の提出をいただいたので規約に則り定例会議として開催することができました。
この文書には定例会議の内容のまとめや補足情報、質疑応答の内容を掲載したいと思います。しっかりと目を通していただきますようお願いいたします。

②秋季オンライン大会概要

各大学、ご回答いただきありがとうございました。全体の内容をまとめた確定版の実施要項を添付しますのでご確認ください。また、昨今の情勢を踏まえ参加可能な大学が「信州大学、長野大学、富山大学、富山大学医学部薬学部、新潟大学、金沢大学、金沢工業大学、金沢学院大学、金沢星稜大学」の 10 大学となってしまいました。そもそも開催すべきなのかという声もありましたが、全日学連の方で上位大会が用意されており、また後の年に先例として記録を残すことに大きな意義があると考えました。よって本大会は予定通り実施させていただくものといたします。ご理解とご協力をどうかよろしくお願いします。

以下にこの項目にいただいた質問と回答を掲載します。

①大学による課外活動の縛りが発生した場合、オンライン大会への不参加を大学ごとに決めることは可能か。(急に参加不可になる可能性が高いため)
また、大会当日のスケジュールは今後固定化されるのか、それとも各県に委ねられるのか、お願いします。
⇨可能です。ただし、運営などに際して人員の不足等が生じる可能性があり調整が必要になることが見込まれますので、不参加が決定した場合には早急に委員長まで報告を行ってください。
大会当日のスケジュールは各県に委ねられます。当日は本部の統括の下で大会を行っていただく必要があるため確定したら報告をお願いします。

②オンラインになったが大会選手登録は北信越学生弓道選手権大会からでいいのか
⇨そこからお願いします。登録の期日に関しては現状のまま(9/17 まで)でいきたいと考え

ておりますが各県の要請に合わせて延長の措置をとることも可能です。また、個人戦のフォームは使用せず、団体戦のフォームに入力するようにしてください。

③大会中の選手交代はどのタイミングから可能になるのか
⇨2 立ち目から可能になります。ただし、一度交代した選手が再び戻ることは不可とします。
④運営の人数の最低 4 名とはどういった想定なのか
⇨全体を統括する責任者 1 名、的場の ZOOM 兼的中確認矢取り指示 1 名、的場録画兼的中確認矢取り指示(補助)1 名、射場 ZOOM 兼選手確認 1 名…こちらがギリギリで運営を回せる配置であると想定しての「最低 4 名」という表現でした。このほかに矢取りや審判補助等の人員がいるとよりスムーズに運営を回せるかと思います。特に上限は設けておりません。各大学で話合いの上、運営を派遣してください。

⑤大会スケジュール(立ちの時間など)は各大学で決めてもよいのか
⇨スケジュールは各大学で決めていただいて構いません。ただし、当日は本部と通信をつなぎ、指示を受けながら進行していただく必要があるため事前に期日と時間の報告をしていただきます。こちらに関しては近日中に責任者用のグループを作成し、そちらで連絡をしていきたいと思いますので今しばらくお待ちください。

③冬季インカレ大会について
詳細については以前に配布した要綱の通りとなります。一点お知らせしたいこととして、冬季インカレの予選は 10 月 17 日～11 月 29 日の期間中に行うこととされています。幅を持った期日設定となっていますが、運営の観点から 11 月 29 日にまとめて実施してもらえた方が運営の観点から見てありがたいとのことでした。そこで、冬季インカレの予選会実施日は原則 11 月 29 日とし、不可能である場合にはなるべく 11 月 29 日に近い日程で行うものとします。後日全体に設定した日程を伺いますので、各自日程の調整をお願いします。
また、冬季インカレ大会に関しては今後も全日学連の方から連絡が来ると思いますので、確認の上部員の皆さんにお伝えいただきますようお願いいたします。

以下、この項目の質疑応答です。

①インカレの開催地は昨年と同様に神戸なのですか？
⇨新型コロナウイルスの動向を見守りながらにはなりますが、アリーナでの決勝戦開催となった場合には神戸での開催となります。これは、新型コロナウイルスの影響によって当初予定していた名古屋の会場が利用不可となってしまったことによる措置です。これによって来年以降の開催地がどのように変動していくかは未定です。

②インカレ予選の会場が「主催者と各参加校の取り決めによる全国各地の弓道場」とあるがこれはどのようなことか。
⇨オンライン開催にあたって会場は全国各地の弓道場となっています。また、秋北予選と同様に複数校開催を原則としていますので、会場やどの大学と合同で行うかは基本的に秋北予選と同じ形でお願いします。こちらについては日程と併せて後日集計をとりたいと思います。

④追加部員登録について
こちらについては特に補足情報はありません。期限内の登録をお願いします。

以下、この項目への質疑応答です。

①本校は、まともに部活動をできていない状況なので、新入生の入部も今はまだありません。もし、資料にあった期日以降に、新入生の入部があった場合はどうすればいいのでしょうか？
⇨その場合には個別に全日本学生弓道連盟の方にメールでコンタクトをとっていただくのが良いかと思われます。今年は特に例年にない動き方が続いており、全日学連の方も柔軟に対応してくださるかと思います。もしもよく分からないことなどがありましたら是非私にご連絡ください。対応させていただきます。

②学生証を張り付けた書類の送付先はどこですか
⇨今年に関しては学生証の回収は行わないことと致しました。理由としては、新型コロナウイルスの影響を受け、部員から学生証を収集することが困難である大学がある旨の報告をいただいたためです。すでにお送りいただいた大学さん、連絡が遅れてすみませんでした…。来年度分に関しては次期委員長から連絡があるかと思いますのでご協力ください。

③部員登録が例年より遅い 10 月 31 日までとのことだったが一年生を登録前に出場させることは可能か
⇨登録の「締切」が 10 月 31 日となっておりますので、大会前に登録を完了させていれば出場可能です

⑤来年の大会予定について
こちらについては特にありません。

⑥規約改正案の提示
非常に込み入ったお話となってしまいましたが、見ていただけたでしょうか。アンケートの結果を見る限りでは質問や反対意見もなく、承認いただけたものと見させていただいております。ありがとうございました。規約の改正内容については後日反映させていただこうと思います。
これを機にぜひ、規約全体に目を通していただき、不自然なところや追加、変更が必要だと思う箇所があればご指摘いただけますと大変ありがたく思います。特に全日本学生弓道連盟規約には競技規則等についても詳しい記載がありますのでご確認いただきたいと思います。

⑦大会協賛費の取り扱いと北信越会計余剰金について
こちらも複雑で、かつ例年にない特殊な動き方となってしまっているので困惑させてしまったところも多かったかと思います。わかりにくかったところなどがあれば引き続き質問等も受け付けておりますのでお気軽にお声がけください。

また、現在までに春北の広告費の領収書についてお問い合わせを複数校から受けております。お金の件に関して、慎重な対応が必要となってきますので今しばらくお待ちいただきたく思います。今後確実に対応させていただきます。

以下、この項目に関する質疑応答です。

①「第 52 回北信越弓道選手権大会の中止について」には、協賛金の返金はできないと書いてありますが、ラインに送られた定例会資料？には、返金の希望があれば委員長に連絡とありました。
事情を説明した上で(本校の場合は、オンライン大会には不参加ということも伝える)、お店側から返金希望があれば返金対応をしていただける、という認識でよいのでしょうか？
⇨その認識で合っています。惑わせてしまいすみませんでした。
原則として返金は不可とさせていただいております(返金作業に伴う金銭トラブル等の予防のため)。ただ、ご協力いただいたお店には失礼の無いようお店側の事情、要望を最大限考慮するべきだと考えておりますので何かあれば連絡いただけると幸いです。

②広告費の収集は例年の主幹校と同じ金額を集めればよいのでしょうか？
⇨本大会の開催にあたっては広告費の徴収は行いません。もし、すでに本大会に宛てた広告費をいただいている場合には事情を説明の上、返金をお願いします。

まとめや補足情報については以上となります。
この度はお忙しい中ご協力をいただき本当にありがとうございました。
秋北代替大会もいよいよ近々になってまいりました。
初めての取り組みということでいろいろ手探りの部分も多くなってしまうかもしれませんが、後世に残る貴重な資料となると思います。どうか最後までご協力ください。
また、今後も不明点等がございましたら荒木までお気軽にお声がけください。よろしくお願いいたします。

<北信越学生弓道連盟委員長 荒木絢汰>